

経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県 岡山市

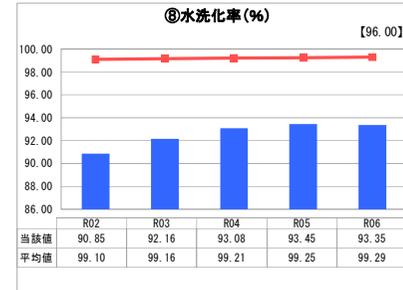
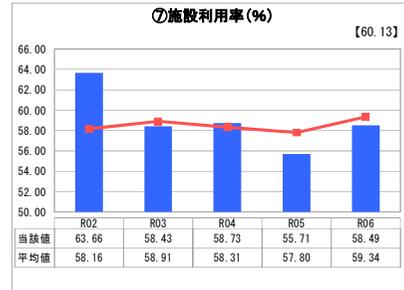
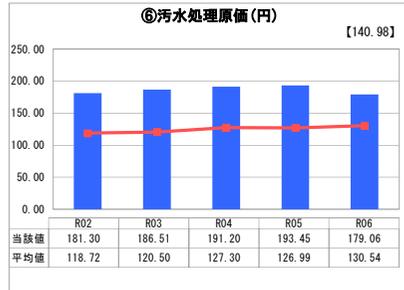
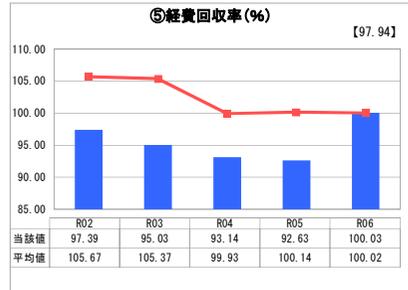
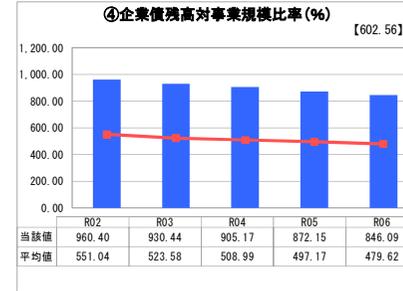
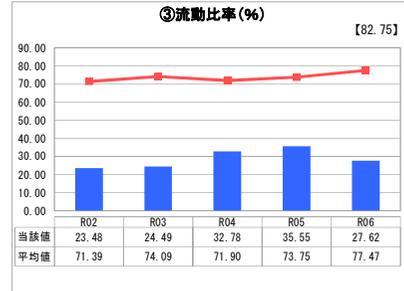
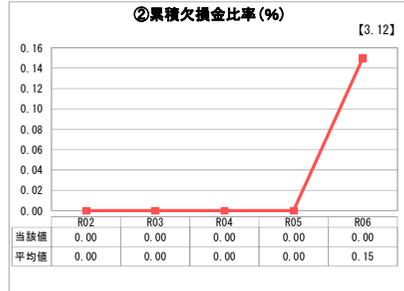
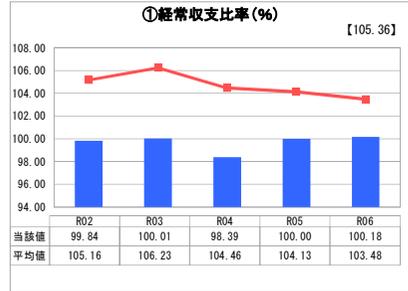
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	政令市等	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	45.65	68.29	85.28	3,011

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
695,690	789.95	880.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
473,379	78.86	6,002.78

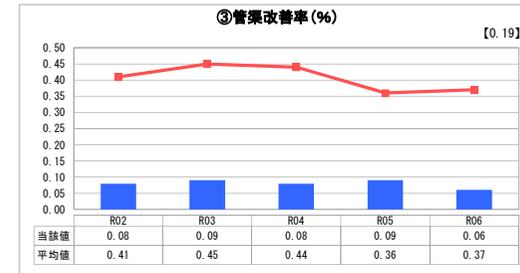
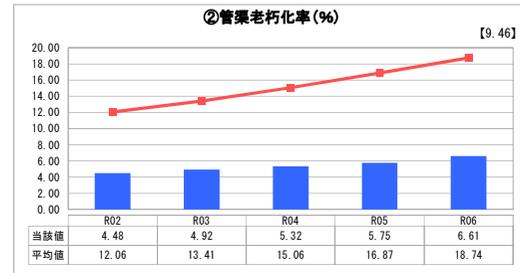
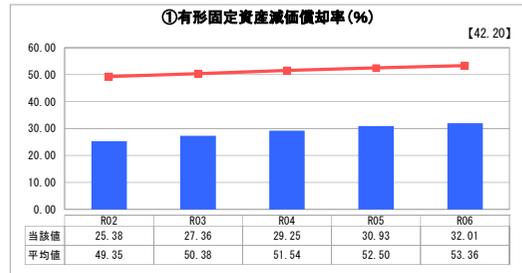
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

岡山市の下水道事業の普及率（下水道を使用できる状況下にある人口の割合）及び⑧水洗化率（普及人口のうち実際に下水道に接続している人口）は類似団体（政令市等）の中で、最も低い。これは、平成一桁になってから本格的に整備した（現在も整備途中である）こと等が要因である。

各指標の特徴としては以下のとおり

- ①一般会計繰入金により赤字相当額を補てんしており、100%程度となっている。
- ②一般会計繰入金により赤字相当額を補てんしており、欠損金は生じていない。
- ③類似団体と比較して整備時期が遅いこと等により、経費に占める償還元金の割合が高く、低水準となっている。
- ④類似団体と比較して整備時期が遅いこと等により、高水準であるが、確実に減少している。
- ⑤使用料対象としている額に対し、100%は賄えない期間が続いていたが、令和6年度は100%を超えている。
- ⑥資本費が高いこと（④）等により、高水準となっている。
- ⑦晴天時一日平均水量÷晴天時現在処理能力×100で表される指標であるが、令和2年度から集計方法を変更したことにより減少している。
- ⑧整備途中であることから、低水準であるが、年々高くなっている。

2. 老朽化の状況について

本格的な整備時期が平成一桁以降と遅いことから、類似団体と比較して老朽化の指標の数値はいずれも低い（本市は平成22年度より地方公営企業法を適用しており、①有形固定資産減価償却率（%）は法適用以降の減価償却累計で算出されるため、その点に留意する必要がある。）。ただし、将来的には多額の更新需要が見込まれることから、長寿命化や改築更新費用の平準化を計画的に進める必要がある。

全体総括

持続可能な下水道事業の運営を図るため、平成27年度に策定した経営戦略（岡山市下水道事業経営計画2016）の中で目標数値を定め、PDCAサイクルにより経営改善を図ることとしている。

具体的には、接続促進による使用料収入の確保、施設の統廃合や施設管理の効率化等による支出の削減等により、経営改善を進めることとしている。

※ 「經常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。